

**令和4年度 第2回  
公立大学法人福島県立医科大学医療安全管理監査委員会 報告書**

このことについて、公立大学法人福島県立医科大学医療安全管理監査委員会規程に基づき実施しましたので、その結果について報告します。

- 1 実施日時 令和5年3月20日（月）16:30～17:30
- 2 実施会場 7号館大会議室
- 3 出席者 (委員)  
委員長 佐藤 武寿 (医療に関する識見を有する者)  
委員 渡辺 慎太郎 (法律に関する識見を有する者)  
委員 田中 明 (医療を受ける者、その他の医療従事者以外の者)  
(附属病院)  
竹石病院長  
鈴木副病院長  
大塚医療安全管理部長  
黒田医薬品安全管理責任者 (薬剤部長)  
横山医療機器安全管理責任者 (臨床工学センター部長) ほか

**4 議 事**

- ① 手術における患者部位・左右手術マーキング方法の変更について  
大塚医療安全管理部長より説明があり、質疑応答を行った。
- ② RRS (院内迅速対応システム) の24時間365日運用体制構築について  
大塚医療安全管理部長より説明があり、質疑応答を行った。
- ③ 重要フラグによる画像検査報告書の第三者による監査結果について  
大塚医療安全管理部長より説明があり、質疑応答を行った。
- ④ 高濃度カリウム製剤の使用に関する新しい運用について  
黒田医薬品安全管理責任者 (薬剤部長) より説明があり、質疑応答を行った。
- ⑤ 医薬品適応外使用 リスク別運用について  
黒田医薬品安全管理責任者 (薬剤部長) より説明があり、質疑応答を行った。
- ⑥ 医療機器安全管理責任者の取組みについて  
横山医療機器安全管理責任者 (臨床工学センター部長) より説明があり、質疑応答を行った。  
佐藤委員長より、以下のとおり意見があった。  
365日のRRS運用体制、画像検査報告書の監査など、いずれも大変だが、大学病院として必要な取り組みと考える。  
医療機器一元管理の一環として、医療機器修繕の窓口を臨床工学センターで一本化したことで、業者への不要な修繕依頼が削減され、修繕費用が減少したのは素晴らしい

ことである。

新たに始めた取り組みは、今後も継続的に実施し、成果に繋げることに努められたい。

5 監査結果 概ね妥当であると判断した。

令和5年3月31日

公立大学法人福島県立医科大学医療安全管理監査委員会

委員長 佐藤 武寿